



## ころ柿、カーテン、鮮やか

### 磐田・敷地地区で最盛期

磐田市北部の敷地地区で特産の干し柿「ころ柿」作りが最盛期を迎えている。地場産品製造会社「しきじ旬の郷」（同市家田）では、干し場に柿がずらりとつるさされた「オレンジ色のカーテン」が陽光を浴びている。

ころ柿には地元産の渋柿「立石柿」を主に使用している。皮をむいた柿を1日に約3千個干し、20日はごかけて天日干しする。今年は長引く残暑などの影響を受けたが、11月下旬ごろから気温が下がり、仕上がりは良いという。

12月下旬までに約4万〜5万個を生産する見込みで、スーパーや百貨店で販売する。



最盛期を迎え、ずらりと干される「ころ柿」 磐田市家田

記事を読んで、問いに答えましょう。

①写真の干し柿を何と読んでいますか。 ( **ころ柿** )

②この干し柿には主にどんな柿が使われていますか。記事からわかることを書きましょう。

( **(磐田市北部・敷地地区の) 地元産の渋柿「立石柿」** )

③この干し柿が「ずらりとつるされている様子」を記事では何と表していますか。

( **オレンジ色のカーテン** )

④干し柿づくりには、どんな気候が向いていると考えられますか。記事を参考にして書きましょう。

(例) **雨が少なく、乾燥し、あまり気温が高くない気候。**

⑤この干し柿を人にすすめる時、あなたはどんなピーアール (PR) をしようと思いませんか。30字以内で書きましょう (句読点を含みます)。

(例)

- ・ **今年は11月下旬ごろから気温も下がり、仕上がりがとてもいいよ。(30字)**
- ・ **陽光をたっぷり浴びた干し柿なので、とても甘くておいしいよ。(30字)**
- ・ **地元の渋柿を原料にして作った特産の干し柿だから間違いはないよ。(30字)**

など